

百蛇堂



[百蛇堂_下载链接1](#)

著者:三津田 信三

出版者:講談社

出版时间:2003-12-5

装帧:新書

isbn:9784061823440

封印すべき実話怪談の原稿！ 読んだ者の元にあれが迫り来る…！！

この世には、絶対人目に触れてはいけないものがある…

作家・三津田信三に託された実話怪談の原稿。読んだ者には忌わしいあれが現れて…忽然と姿を消す。不可能状況で頻発する児童連続失踪事件と「あの原稿は世に出してはいけない」という龍巳の言葉は何を意味するのか？ 葬り去られるべきものが世に出たことで謎と怪異が続発！ そしてラストに待つ衝撃の結末！

先の『蛇棺葬』の出版に当たって、あの話を巡って起きた奇怪な出来事の顛末を綴ったのが本書です。結局、何があったのか――それは読者の皆さんも同じ体験をされることでしか理解できないのかもしれませんが。――三津田信三

作者介绍:

三津田 信三（みつだ しんぞう、生年月日不詳）は、奈良県出身の小説家、推理作家、ホラー作家、編集者。

編集者を経て、2001年に『ホラー作家の棲む家』で作家デビュー。
（ただし1994年に鮎川哲也編のアンソロジー「本格推理3 迷宮の殺人者」に「霧の館 迷宮草子 第一話」を応募して収録されている。）

編集者としての主な企画には、『ワールド・ミステリー・ツアー13』シリーズ、『日本怪奇幻想紀行』シリーズ、ホラージャパネスク叢書などがある。

密室からの人間消失や、閉鎖空間での連続殺人（いわゆる「クローズド・サークル」）に代表される本格・新本格推理小説のテイストと、土俗的・民俗学的な怪奇譚の融合を図った作風をもつ。

その作品は大きく二つに分けられ、作者と同名の作家三津田信三を登場人物としたシリーズと、流浪の幻想小説家刀城言耶（とうじょう げんや）を語り手としたシリーズがある。三津田信三シリーズではメタ構造をもった幻想怪奇小説であることが多いが、刀城言耶シリーズでは、最後のページを読むまでその作品が推理小説なのか怪奇譚なのかわからないという構造が特徴的である。

目录:

[百蛇堂_下载链接1](#)

标签

三津田信三

推理

日本版

怪談

◆推理◆

评论

断断续续看了将近一个月。三三叔真心话唠，不是粉根本读不下去吧。不过最后确实把我震了一下。唯有META手法才能实现的诡计。五星是打给整个作家三部曲的，应该说这个系列比刀城系列更彰显三三叔的特色。最后，要问三三叔为啥让作家系列完结了，看完这本就明白了……

[百蛇堂_下载链接1](#)

书评

先友情提醒：阅读此书前请尽量先读完《蛇棺葬》，否则恐会陷入三三流的脑髓地狱（啥？），依旧是各种饶舌、话唠、甚至还有渗漫两页纸的拟声词，三三像个催眠师一样引导读者跟着他经历种种被怪物追逐的幻像，不仅如此，三三还凭借他的个人魅力（？）把同事们、好基友们拉下水，...

[百蛇堂_下载链接1](#)